

家族の理想実現

～少子化対策の推進～

平成30年2月7日
とりまとめ担当課
こども政策課 内線2392

結婚から妊娠・出産、子育て、教育までを含めた切れ目のない支援により、若者の結婚の理想を実現するとともに、安心して妊娠・出産・子育てをすることができる環境づくりに取り組み、次代を担う子ども・若者を社会全体で支援します。

【予算額】 48,308,766 千円

I 家族形成支援

2,225,488 千円

子ども・若者が自立した社会の担い手として成長していけるよう、教育環境を整え、就労支援を進めます。また、結婚や妊娠・出産の希望が実現できるように、支援体制を充実させます。

1 若者の自立を支える

- ◆ ぐんま少人数クラスプロジェクト((教)学校人事課) 1,292,650 千円
- ◆ ジョブカフェぐんま運営(労働政策課) 81,013 千円
- ◆ 総合的な少子化対策推進(こども政策課) 63,956 千円 など

2 母性(妊娠や出産及び授乳等の機能)の健康を支援する

- ◆ 女性健康支援センター事業(児童福祉課) 2,405 千円
- ◆ 特定不妊治療費助成事業(児童福祉課) 236,784 千円
- ◆ 不妊専門相談センター事業(児童福祉課) 1,930 千円
- ◆ 周産期医療対策(医務課) 197,580 千円 など

II 子育て支援

45,894,100 千円

小児医療体制の整備に取り組むとともに、子ども医療費の無料化等により、安全で安心な環境で子どもがのびのび育つよう生活環境を整えます。また、それぞれの家庭の実情に応じた子育て支援策を充実させ、全ての子どもが健やかに成長できる環境整備を進めます。

1 生まれてくる全ての子どもの健康と発達を支援する

- ◆ 先天性代謝異常等対策(児童福祉課) 49,268 千円
- ◆ 小児慢性特定疾病対策(保健予防課) 191,424 千円
- ◆ 母子医療給付(育成医療・養育医療)(児童福祉課、障害政策課) 40,808 千円 など

2 社会全体で子育てを応援する

- ◆ 小児救急医療支援事業(医務課) 126,998 千円
- ◆ 子ども医療費の無料化(国保援護課) 3,991,085 千円
- ◆ 第3子以降3歳未満児保育料免除(子育て・青少年課) 323,621 千円 など
- ◆ 高等学校等就学支援金((教)管理課、学事法制課) 6,039,435 千円

3 質の高い教育・保育の提供

- ◆ 認定こども園整備(子育て・青少年課) 587,008 千円
- ◆ 子どものための教育・保育給付費負担(子育て・青少年課) 8,488,978 千円
- ◆ 保育充実促進費補助(子育て・青少年課) 287,529 千円 など

4 県内各地域の特性に応じた子ども・子育て支援策の充実

- ◆ 子ども・子育て支援交付金(子育て・青少年課) 2,222,197 千円
- ◆ 子ども・子育て支援整備交付金(子育て・青少年課) 111,113 千円
- ◆ 次世代育成支援対策施設整備交付金事業補助(子育て・青少年課) 18,333 千円 など

5 全ての子どもの健やかな育ちを実現

- ◆ 施設入所、里親委託児童支援(児童福祉課) 2,840,931 千円
- ◆ 児童相談所の体制強化(児童福祉課) 384,361 千円
- ◆ 障害児通所支援県費負担(障害政策課) 1,303,520 千円 など

III 両立支援

189,178 千円

男女がともに、子育てしながら安心して働くことのできる職場環境づくりを推進するとともに、働き方改革の取組を促進します。また、子育て中の女性の再就業に向けた支援に取り組みます。

1 仕事と子育てが両立できる環境をつくる

- ◆ 院内保育施設運営費・施設整備費補助(医務課) 125,665 千円
- ◆ 保育サポーターバンク運営費補助(医務課) 17,000 千円
- ◆ 女性の就業支援(労働政策課) 12,987 千円
- ◆ 離職者等再就職訓練(育児等両立支援コース)(産業人材育成課) 21,307 千円 など